

コア企業：(株)北海道エコシス（帯広市：産業廃棄物処分量）
連携企業等：(株)樋口、みぞぐち事業(株)、(有)白戸電気制御
(財)函館地域産業振興財団

事業計画の概要：全自動・高品質バイオディーゼル燃料製造装置の開発・製造・販売
～高品質バイオディーゼル燃料をメタノールの再利用による省コスト製造を実現し、
従来のバイオディーゼル燃料化の課題を克服～

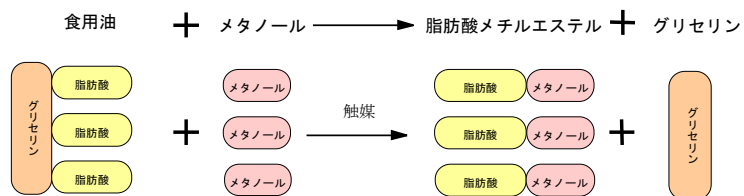
1. 近年、環境問題に注目が向けられ、温室効果ガスの削減に力を入れる自治体や企業などが増えてきている。一方、バイオマス由来の燃料で環境負荷の低い廃食用油を原料に製造されるバイオディーゼル燃料が注目を浴び、原油価格高騰の影響もあり、バイオディーゼル燃料製造装置の導入が進められている。
2. (株)北海道エコシスでは、リサイクル装置開発を目的に平成13年頃より「廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料製造の技術開発」に着手し、平成18年に各種の問題点を解決したパイロットプラントの完成に至った。また、同時にこれらの基礎技術をベースに市販装置の開発を目指した結果、品質の良い燃料が製造できる全自動バイオディーゼル燃料製造装置の製作販売の目処が立った。
3. 本事業は、既存のバイオディーゼル燃料製造装置にはない真空減圧機構及び二段階製法によって、自動制御による人件費の低減と回収メタノールの再利用によるランニングコストの低減を可能とする。高品質なバイオディーゼル燃料の製造が可能な小型装置を、自治体等の官公庁、民間企業へ販売するほか、将来的には中国など海外へのアプローチも視野に入れている。
4. コア企業の(株)北海道エコシスが研究開発を進めてきたバイオディーゼル生成装置を、(株)樋口が製造・販売を担当するほか、主に函館地区の販売と市場調査をみぞぐち事業(株)が、真空技術に対応するプログラム開発を(有)白戸電気制御が、真空関係の装置設計を(財)函館地域産業振興財団が担い、各々のノウハウを結集・連携して販売展開するものである。

バイオディーゼル燃料製造装置
ECOF

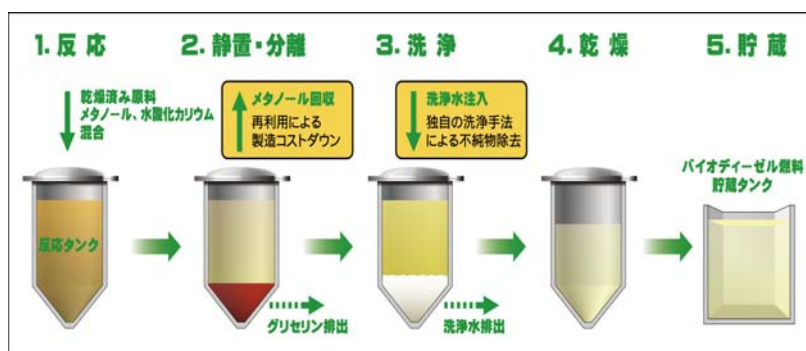


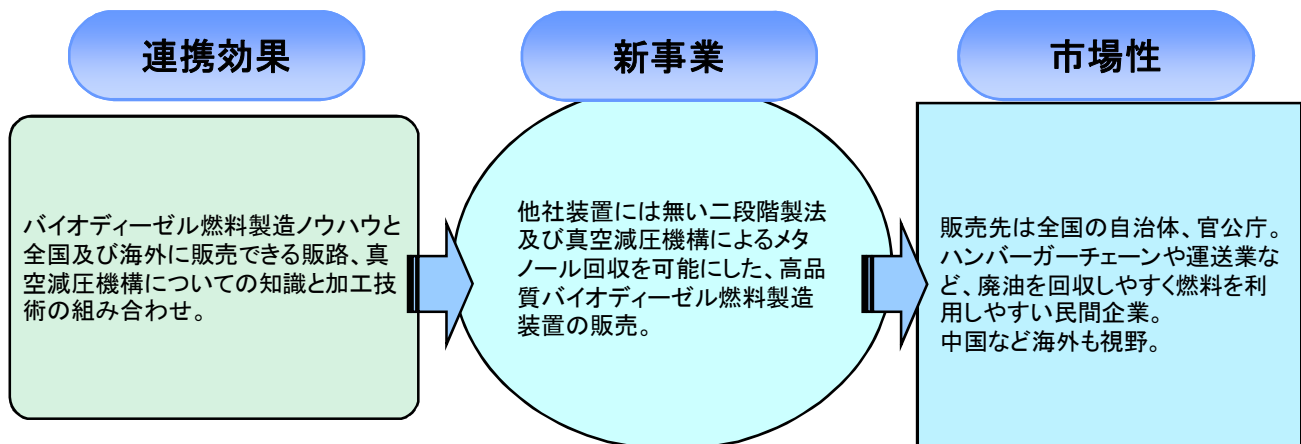
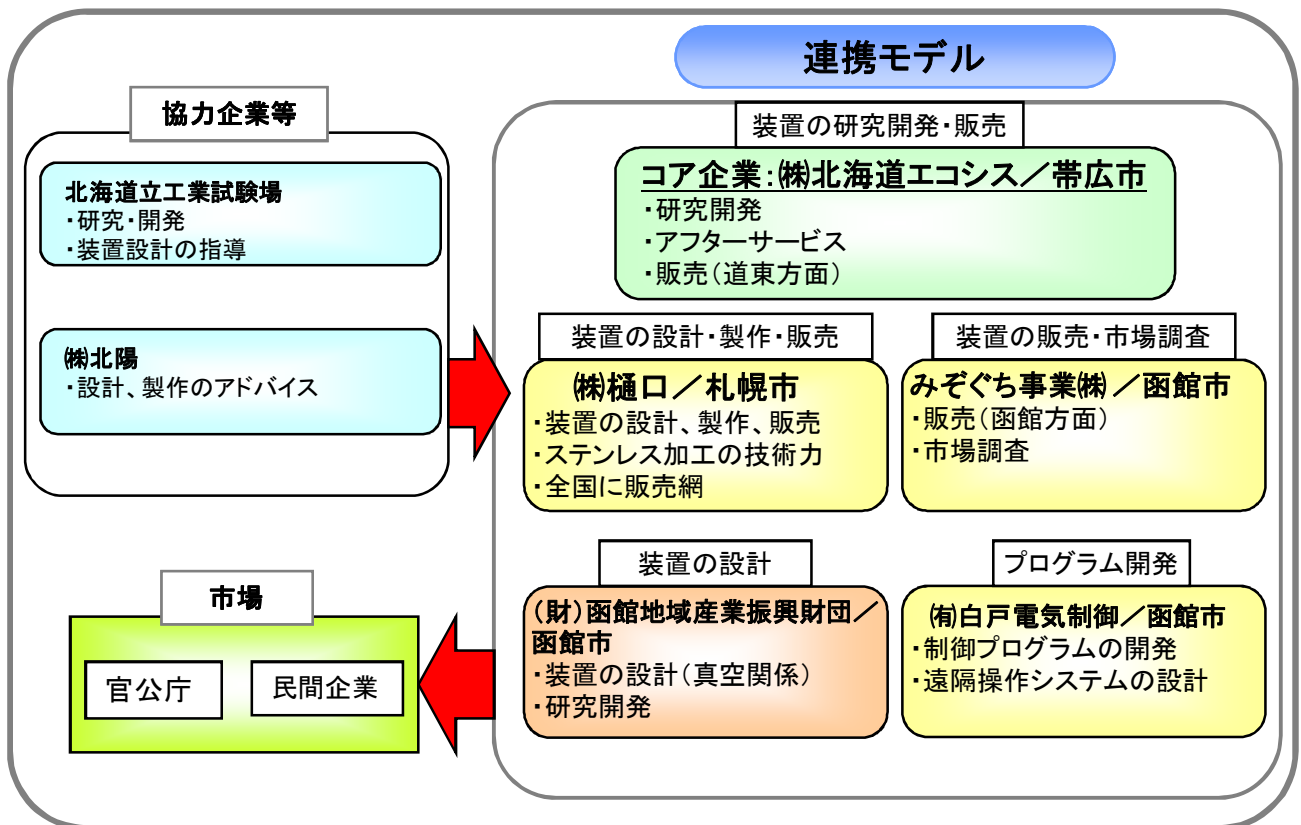
- ・全自動
- ・高品質燃料
- ・ランニングコスト低減

バイオディーゼル燃料生成フロー



製造システム概要図





支援メニュー

【支援金融機関】 商工組合中央金庫
【活用(予定)支援メニュー】 ①補助金 ②政府系金融機関の低利融資 ③特許料の減免措置

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社北海道エコシス 代表取締役 近藤 誠勝	
所在地	帯広市西24条北4丁目5番地の4	
創立	昭和46年8月	
資本金・従業員数	4,995万円	39名
TEL/FAX	0155-37-3766	0155-37-4683
e-mail	info@hokkaido-ecosys.com	
URL	http://www.hokkaido-ecosys.com	